

とみや議会だより

第18号



誌上 議会報告P3～
令和2年第4回定例会議案審議P7～
一般質問P11～
委員会活動P20～

▲ミレニアムモニュメント「ひとの架橋」

2021年(令和3年)2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい市議会だよりを目指して～

UD FONT
by MORISAWA

第18号からユニバーサルデザイン
フォントを導入しました。

あけまして
おめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます



年頭のごあいさつ

市民の皆様、あけましておめでとうございます。令和3年の新年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃より市政と議会活動に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、今なお世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの生活が一変させられた年でした。このような中、市民の皆様には、新しい生活様式に基づく行動を心がけていただいています。

医療に従事されている方々はもとより、感染拡大防止に向け、様々な立場で努力を続けておられる皆様、多くの制約の中でありながらも、地域の活性化のために尽力をされている全ての皆様に、心から敬意を表します。

本年は、延期開催予定である「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催記念事業として、本市並びに大和町との共同主催による「七ツ森ハーフマラソン大会」が、春に予定されています。また、昨年、富谷宿開宿400年記念事業として開催予定であった「街道まつり本まつり」を10月に予定しております。あわせて、地域の行事なども無事開催されるような日常が一日も早く戻ってまいりますことを、切望する次第であります。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。本市のますますの発展に期待いたし、新年の挨拶といたします。

富谷市議会議長

渡邊 俊一

富谷市議会では、「市民に開かれた議会」を目指し、議会の報告や皆様との意見交換の場として、議会報告会を開催してまいりました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本誌で報告とさせていただきます。ご意見等がございましたら、お聞かせください。

議会活性化調査特別委員会

●構成議員（議長を除く全議員）

◎委員長：畑山 和晴 ○副委員長：金子 透

●活動内容：市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えられる議会を目指し、調査をします。

●調査項目：①議会活動の活性化に関する調査 ②議会に関する広報、広聴に関する調査 ③その他目的達成に関する事項の調査

<調査活動内容>

・政務活動費全額の返還（新型コロナウイルス感染症対策等に充当）

全額を返還し、それを財源に新型コロナウイルス感染症支援策等に充てるものです。

・長期欠席議員の議員報酬減額条例の検討

会議等公務を長期にわたり欠席をした際、議員報酬を減額すべきかどうかの検討で、条例を制定しなければ寄付行為に当たるため、条例制定している他自治体を参考にし、今後、専門家の意見を聞きながら慎重に検討をします。

・議員間討議の各常任委員会での実行

各常任委員会において、それぞれのテーマに沿った形で活発な討議をすることで、各議員のさまざまな考えを取り入れ、市政運営に提言をしていくものです。

・災害行動マニュアルの見直し

ここ数年、豪雨等による災害が多く発生していることに伴い、災害行動マニュアルを実際に起こったことを踏まえ、見直すものです。

・各議員の一般質問通告書の内容のホームページ掲載について

現在のホームページには、表題しか掲載されていませんでした。今後は、表題だけでなく、質問項目の詳細も掲載していくこととします。

今後も開かれた議会、活発な議論を目指し、またSNSの活用や議会のデジタル化の研究検討も進めていきます。

総務常任委員会

●構成議員（6人）

◎委員長：金子 透 ○副委員長：村上 治
委員：畑山 和晴 安住 稔幸 高橋 正俊 渡邊 清美

●活動内容：市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

●所 管：企画部（企画政策課・財政課）
総務部（総務課・防災安全課・市民協働課）
市民生活部（市民課・税務課・生活環境課）
市長公室、会計課等

財政状況について

調査日 令和元年10月21日

歳入では、自主財源の柱である市税が増加していますが、人口は微増で少子高齢化が想定されています。企業誘致等を推進し、歳入増を図るべきです。

歳出では、生活に直結する事業等は、過度な抑制でサービスの後退がないよう注視すべきです。公共施設の維持管理費は増加しますが、確実な運営に努めるべきです。

基金や市債では、市民の理解を得よう丁寧な説明が必要です。財政健全化に基づく5つの指標は、全て適正でした。今後も確実な行財政運営を求めます。



市民協働について

調査日 令和2年1月20日

市民協働とは、市民、団体、行政が対等で連携協力し、目的達成するための活動です。本市では「市民の思いを協働でつくるまちづくり」を掲げ、「まちづくりの基本」となるルール策定を令和2年度に行います。

今後はルールや枠組みづくりだけではなく、市民、団体間の交流の促進や、より多くの市民、団体が、今以上に積極的に参画しやすい、「健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちづくり」を実感できる環境づくりを求めます。

新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営

調査日 令和2年7月30日

避難所運営マニュアルが令和2年5月に改定され、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営方針も定められました。感染リスクを考慮した避難者への対応や、感染予防対策備蓄品の整備状況を確認しました。

避難所運営では、迅速、的確な対応のための机上訓練や実動訓練を、定期的に行うべきです。感染症対策備蓄品については、質、量のさらなる充実と、点検および定期的な更新が必要です。今後も想定されるさまざまな事案への対応を求めます。



教育民生常任委員会

●構成議員（6人）

◎委員長：出川 博一 ○副委員長：浅野 直子
委員：長谷川 る美 藤原 峻 塩田 智明 菊池 美穂

●活動内容：教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

●所 管：保健福祉部（長寿福祉課・地域福祉課・健康推進課・子育て支援課）
教育委員会（教育総務課・学校教育課・生涯学習課）

介護予防施策のさらなる推進を求める請願について

審査日 令和元年12月18日ほか

令和元年12月9日「介護予防施策のさらなる推進を求める請願」が受理され、本委員会に付託されました。令和元年12月18日から2年4月14日まで、5回の委員会を開催し、審査しました。

請願者および紹介者から請願内容の説明を受け、質疑を行いました。また、執行部と、介護予防および総合事業の取組状況や、今後の事業予定等について質疑を行いました。

審査の結果、「願意妥当と認め、採択すべきもの」として、議長に報告をし、令和2年6月18日開催の本会議において採択されました。



こじゅうろうキッズランドについて

調査日 令和2年2月5日

白石市の「こじゅうろうキッズランド」整備経緯等について調査しました。白石市では、子育て世帯の要望を受け、まち・ひと・しごと創生総合戦略に「親子で安心して遊べる室内遊び場の提供」を掲げ整備し、その結果、白石の新たな賑わい交流拠点となっています。

子どもの比率が高い本市には、大型遊具のある室内遊戯施設の整備が求められます。

※現在、児童屋内遊戯施設を含めた複合施設整備の検討が進められています。



GIGAスクール構想について

調査日 令和2年7月1日

講師を招き「GIGAスクール構想」について調査しました。ICTの導入により、教師の負担増や情報セキュリティのリスク等に対する懸念もありますが、「ICTはもはや文房具、やらないという選択肢はない」ことを共有しました。

本市では、国の補助金を活用し、10月末に一人1台のタブレット整備が完了しました。タブレット端末は、5年ほどで更新が必要とされています（今年度約2.6億円の投資）。国の助成動向を注視し、機器更新の財源確保が今後の課題と考えます。



産業建設常任委員会

●構成議員（5人）

◎委員長：菅原 福治 ○副委員長：佐藤 浩崇
委員：若生 英俊 浅野 武志 青柳 信義

●活動内容：経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

●所 管：経済産業部（産業観光課・農林振興課）
建設部（都市整備課・都市計画課・上下水道課）

富谷茶による産業振興について

調査日 令和元年11月1日

富谷茶復活事業は、富谷茶復活プロジェクトによる地域活性化とシルバー会員就業事業の取組です。

平成30年、お茶の栽培面積は3つの地区合わせて455㎡、本数は1,111本の栽培を行いました。

令和元年の茶摘み実績は、生茶葉で3.7kg、製茶で0.7kgとごく少量です。将来的に事業として取り組むためには事業の継続も含めて、専業農家の体制確立が必要です。



台風による竹林川の越水について

調査日 令和2年1月24日

台風19号の復旧状況を調査しました。人的な被害はなかったものの、河川・道路関係等、446件の被害がありました。

これまでも、たびたび氾濫や土砂災害が発生している本木橋付近の越水は、竹林川の北目堰の堰坂と吉田川との合流地点のバックウォーターが原因と思われます。越水の解消には、堰坂の撤去と吉田川の合流地点に遊水池が必要です。

空き家を活用した 店舗取得制度について

調査日 令和2年7月10日

この制度は、地域振興を通して新たな雇用の確保と事業の活性化を図るもので、空き店舗を活用し、小売店やサービス業等を営もうとする創業者への支援事業です。

内容は、店舗取得費や店舗改修費および店舗賃借料等、対象経費の一部を補助します。

今後は、補助金給付の前倒しと相談をスムーズに進めるための空き店舗や空き家のデータバンク化が必要です。



令和2年 第4回定例会議案審議



(仮称)やすらぎパークとみや
令和5年度オープンに向けて
(パークゴルフ場は
令和6年度にオープン)



「とみやど」
富谷宿観光交流ステーション
グランドオープン
本年4月17日

令和2年第4回定例会は、12月1日から12月10日までの10日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、令和2年度各種会計補正予算、富谷市国民健康保険税条例などの一部改正、富谷市固定資産評価審査委員の選任、富谷市営墓地特別会計条例の制定、令和2年度富谷市市営墓地特別会計予算、黒川地域行政事務組合規約の変更、黒川行政事務組合の財産処分についてなど18議案、専決処分の承認4件が上程され、全件原案通り可決しました。

また、16人の議員が市政について一般質問を行い、活発な議論が繰り広げられました。

一般会計補正予算

台風19号被害復旧に追加補正

台風19号復旧工事

問 復旧工事費で、出来高払い、出来高精算ということでしたが、当初の予定額は。

答 当初見込額が2億520万円ほどでした。しかしながら、支出総額見込額は3億980万円、1億460万円ほど上回りました。上回った大きな要因は、小災害の部分が増えたためです。

問 早期復旧としても、この精算の在り方は。

答 早期復旧が第一の命題でした。その中で、1件あたり事業費、工事箇所数を掛けて見込額を算出しました。今後、改善できる点は考えていかなくてはいけないと思います。しかし、速やかな復旧も大事ですので、場合によっては、このような方法を取らざるを得ない

ということですが。

観光ガイドブック

問 観光ガイドブック製作業務600万円となっていますが作成部数は。

答 10万部の予定です。

問 内容は。

答 サイズはA4より少し小さいもので、20ページを予定しています。

問 活用方法は。

答 来年4月17日にグラウンドオープンする「とみやど」観光交流ステーションの市内外への周知です。また、コロナ禍で飲食店等が困窮している状況もあり、そうしたものも含めて、市内、県内外にも広く周知をしていきたいと考えています。

マーチングバンド 全国大会出場

問 マーチングバンドの

全国大会出場補助金で130万円計上されています。今回、映像審査との

ことですが費用の内容は。

答 映像を撮るための場所を確保する経費、また、確保した場所へ移動する経費等を補助します。

問 富谷スポーツセンターではできないのですか。

答 とみやマーチングエコーズは130人ぐらい



の規模になりますので、スポーツセンターでは手狭となっています。

緊急学業支援金貸付

問 緊急学業支援金貸付

事業の申請実績は6件で、大幅に減額補正されています。6件の内訳は。

答 30万円を借りた方が5人、27万円が1人です。

問 当初の見込みは200人で6000万円でしたが、見込みとの差がかなり大きいです。見込み

の算出方法、積算根拠は。

答 18歳から22歳までの人口におよその進学率を掛け、そのうちの約10%、200人を見込みました。

問 事業の周知は。

答 市のホームページや広報等に掲載をしています。また、県内の大学等、約100箇所にリーフレットを送付しています。

●●●主なつかいみち●●●

○令和元年東日本台風農業用施設災害復旧費

台風19号における農業災害復旧に充てる費用です。

7,450万円

○ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

ひとり親世帯に対する追加支援です。

1,240万円

○公民館維持管理事業

衛生環境改善（感染症予防）のため、富谷中央公民館内の和式トイレを洋式トイレに改修します。

956万円

○経済支援対策事業

富谷宿観光交流ステーション「とみやど」の令和3年4月17日オープンに合わせ、新たな観光ガイドブックを作成します。

600万円

○芸術・文化活動団体等支援事業

マーチングバンド全国大会に出場するとみやマーチングエコーズ、富ヶ丘小学校金管バンド、成田東小学校金管バンドの3団体への補助金です。

130万円

(仮称) やすらぎパークとみや

墓所 2,000区画

パークゴルフ場 18ホールを整備

市営墓地特別会計条例の制定



（仮称）やすらぎパークとみや整備基本設計では、事業区域7万2000㎡に墓地2000区画のほか、パークゴルフ場18ホール、管理棟、駐車場（200台）、多目的広場等の整備が計画されています。墓地は令和5年度に、パークゴルフ場は令和6年度当初にオープン予定です。

問 永代使用料の設定の考え方は。

答 実施設計から造成工事の費用を踏まえ、近隣の市町村、寺院等との調

和も考慮して、適正な価格を設定します。

問 生前取得や、市内在住期間の短い方でも申込できますか。

答 予約販売を考えていますが、今後検討します。

問 市外在住でも申込できますか。

答 市民優先で考えています。

問 問合せ先は。

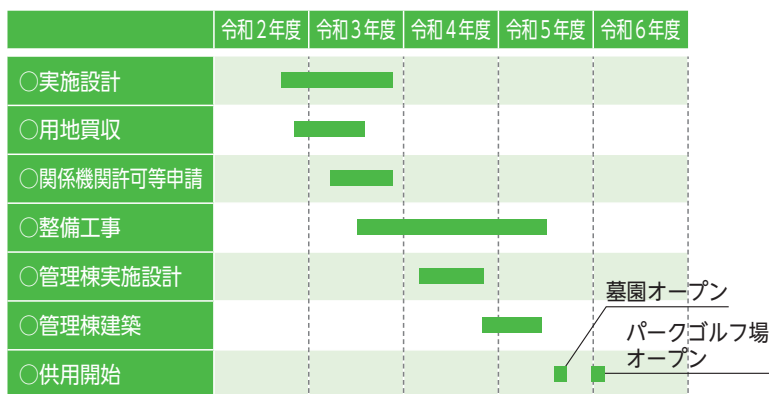
答 まだ決まっています。パークゴルフ場を含め、管理運営体制を検討します。

施設規模

内容		1期	2期	3期	合計
墓地	和式墓所	200区画	50区画	50区画	300区画
	芝生墓所	200区画	150区画	550区画	900区画
	個別集合墓所	400区画	400区画	—	800区画
	合葬墓所	1箇所	—	—	1箇所
	墓所合計	800区画	600区画	600区画	2,000区画
パークゴルフ場	18ホール(9H×2)	—	—	18ホール(9H×2)	
多目的広場等		約600㎡		約600㎡	
管理棟		約170㎡		約170㎡	
駐車場(200台)		約4,600㎡		約4,600㎡	

○事業区域 約72,000㎡ ○開発区域 約51,000㎡

整備スケジュール



※スケジュールは、現段階での見込みであり、今後変更となる場合があります。

人事院勧告に基づき期末手当引き下げ 専決処分

職員の給与に関する条例等の一部改正

令和2年人事院勧告等に基づく「国家公務員の一般職並びに特別職の給与に関する法律等の一部を改正する法律」の、期末手当の引き下げ(0.05月分)が国会で可決されたことに伴い、富谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例等を専決処分したことに伴って、原案のとおり承認しました。

- 同様に
 - ・富谷市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
 - ・富谷市の特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
 - ・富谷市一般職の任期付職員の採用に関する条例
- 以上、3議案についても、原案のとおり承認しました。

第4回定例会(12/1~12/10) 議案採決結果一覧

議案	賛成	反対	議決結果	菊池	佐藤	村上	塩田	渡邊	藤原	金子	青柳	浅野	若生	長谷川	高橋	菅原	出川	浅野	安住	畑山	渡邊	提案者	
				美穂	浩崇	治	智明	清美	峻	透	信義	武志	英俊	美	正俊	福治	博一	直子	稔幸	和晴	俊一		
富谷市国民健康保険税条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市介護保険条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和2年度富谷市一般会計補正予算(第9号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和2年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和2年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第4号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和2年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
令和2年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
和解及び損害賠償額の決定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
富谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	17	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
黒川地域行政事務組合規約の変更について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
富谷市市営墓地特別会計条例の制定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
令和2年度富谷市市営墓地特別会計予算	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
令和2年度富谷市一般会計補正予算(第10号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
黒川地域行政事務組合の財産処分について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
令和2年度富谷市一般会計補正予算(第11号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
専決処分の承認を求めることについて(職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	17	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
専決処分の承認を求めることについて(議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例)	17	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
専決処分の承認を求めることについて(特別職の職員で常勤のものゝ給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例)	17	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
専決処分の承認を求めることについて(富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例)	17	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案

○賛成 ×反対

※ 議長(渡邊俊一)は採決に加わりません。

市政を問う

一般質問

第4回定例会では16人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を12ページから19ページまで発言順に掲載しています。

一般質問の様子はインターネット録画配信でご覧になれます。

また、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

12P 菅原 福治 議員

- 協働は、行政と市民・市民団体の相互理解が基本では

12P 金子 透 議員

- 来春「とみやど」開所準備は万全か

13P 青柳 信義 議員

- 認知症と共生への施策について
- AED設置について

13P 佐藤 浩崇 議員

- 富谷市総合計画の進捗と成果について問う

14P 村上 治 議員

- 行財政改革について問う

14P 浅野 直子 議員

- 児童クラブの運営について

15P 出川 博一 議員

- 来年度予算 歳入歳出の見込みは
- 本市介護保険制度の今後はいかに

15P 浅野 武志 議員

- 台風19号の被害の復旧は
- 歩道と歩道を繋ぐ橋の建設を

16P 若生 英俊 議員

- 公営墓地単独事業として整備を
- 市道三ノ関大崎線に歩道設置を

16P 渡邊 清美 議員

- 介護保険を問う
- 女川原発2号機再稼働を問う
- 子どもの予防接種を問う

17P 塩田 智明 議員

- 震災時の断水対策について問う
- 避難所の暑さ対策を問う

17P 高橋 正俊 議員

- 災害対策について

18P 畑山 和晴 議員

- ICTを活用した英語教育について
- 子どもの自己肯定感向上について

18P 藤原 峻 議員

- 農業の支援策の強化は
- コロナウイルス感染予防に対応した教育支援策は

19P 長谷川 る美 議員

- 通学路の安全向上策と安全意識の向上について
- 団地内の公園の維持管理について

19P 安住 稔幸 議員

- 貸出図書衛生対策を問う
- 子育て支援を問う

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 市民協働サポートセンター設置を

答 センター機能は必要であり検討中

本市には、60を超えるボランティア・NPO団体が活動しています。

しかしながら、お互いの活動を知る機会や情報交換の場がなく、繋がり場があれば、協働のまちづくりは、推進できるという意見がありました。

協働が形ばかりで進まない原因は、お互いの理解不足にあります。

日頃から、コミュニケーションを図るための場所と繋がりが必要です。協働を進めるための、



▲名取市市民活動支援センター

協働を進めるための、窓口の必要性などです。

問 協働のまちづくりを進める上で最大の障害は、行政とボランティアの理解不足です。今後の相互理解の考え方は。

答 同じ認識です。今後は、行政と市民の理解のみならず、市民同士の情報交換や相互理解につい

サポートセンターの設置について問います。

問 ガイドラインに、SDGsを入れた理由は。

答 持続可能なまちづくりに向け、さまざまな課題の解決、社会の変化への対応、まちの力を高めるなど、富谷の協働の在り方としての考え方です。

問 わくわくミーティングの中から、出された意見の内容は。

答 行政と市民の情報共有の場と、市民が自主的に活動を行う際の、相談

窓口の必要性などです。

問 協働のまちづくりを進める上で最大の障害は、行政とボランティアの理解不足です。今後の相互理解の考え方は。

答 同じ認識です。今後は、行政と市民の理解のみならず、市民同士の情報交換や相互理解につい

たできます。



菅原 福治 議員

て重要視していきます。

問 協働を進める施設として、会議室やコピー機、駐車場の確保等、利用者への配慮が必要では。

答 センターの役割機能は効果が大きく、今後は、施設や場所の在り方について検討します。

問 センターの設置によって、協働推進の真価が問われます。公設かNPO委託の方向性は。

答 多くの自治体では、専門性の高いNPO団体に委託しており、今後は、各自自治体を調査し、本市に合った形を検討します。

問 センターの設置を、後期計画に入れては。

答 センター機能は必要です。しばらく時間をいただきます。

問 「とみやど」開所の準備は万全か

答 最大限のノウハウを生かします

本市の弱点である観光に本腰を入れ、富谷宿観光交流ステーション、通称「とみやど」の開所が来春4月17日と発表されました。本市の観光、交流人口の拡大、しんまちの活性化、将来を見据えたまちづくり等、重要な役割を担う施設ですが、管理、運営の方法、方針が示されていません。

問 管理、運営およびイベント等の企画、開催についての見解は。

答 市が直接管理しますが、地域おこし協力隊と連携したイベント開催や情報発信および、施設維持管理に係る業務は民間事業者へ委託を考えています。TOMI+と連携し施設認知度を高めるPR業務や集客イベントの実施も考えています。

問 年間集客の見込人数とその根拠は。

答 年4回程度の市主催イベントおよび定期、不定期の企画イベントでの来客見込みなどを積み上げ、10万人を目指します。

問 スタートが肝心で、集客のために必要な予算措置をすべきでは。

答 大変重要と考えます。施設の維持管理業務、PR企画業務、運営組織立ち上げに関する業務、イベント運営に要する経費など、今後、議会に提案



▲とみやど

など、今後、議会に提案

します。業務については、地方創生推進交付金も財源に考えています。

問 「とみやど」周辺にさらなる施設整備は。

答 「とみやど」を中心に、しんまちめぐり周遊コースの策定や、しんまち地区で滞留できる仕掛けづくりは必要です。これらの取組で地域に民間資本が投資されるのが理想と考え、さらなる施設整備は開所後の来場者等の状況を検証し判断します。

問 富ヶ岡公園を有効活用すべきでは。

答 富ヶ岡公園は重要な資源と考えます。「とみやど」入居者、地域サポーターなどの方と一度議論し、公園の活用を真剣に考えていきます。

問 富ヶ岡公園を有効活用すべきでは。

答 富ヶ岡公園は重要な資源と考えます。「とみやど」入居者、地域サポーターなどの方と一度議論し、公園の活用を真剣に考えていきます。

など、今後、議会に提案



金子 透 議員

問 認知症の人にやさしい施策推進は

答 安心な生活環境整備に努めます

厚生労働省の新オレンジプランにより、2025年には認知症の人は約700万人前後になり、65歳以上の高齢者に対する割合は、現状の約7人に1人から約5人に1人に上昇する見込みとの結果が明らかとなりました。

認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人に寄り添いながら、認知症の人が認知症とともによく生きていくことができ

るよう、環境整備を行っていくことが求められています。

若年性も含め、認知症の方への支援は、

認知症学びの講座、高齢者ケアパス、成年後見制度の利用促進など、

認知症の方とご家族が安心して生活できるような環境整備に努めています。

認知症サポーターの研修会の今後の課題は、

地域、学校、職場で研修会を開催しています。今後、市役所全職員を対象とした研修会を行う予定です。

認知症介護者への支援は、

介護者は身体的・精神的な負担が大きく、介護保険サービスの適切な利用と、介護者が孤立しないよう、認知症家族の会や富ヶ丘・日吉台圏域地域包括支援センター開催の「暖々の会」への参加を勧めています。

「認知症にやさしいまちづくり条例」などの制定による認知症施策の推進は、

本市では、第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画において施策を推進します。条例は、国および他自治体の動向を注視しながら、見極めていきます。



青柳 信義 議員

問 総合計画の進捗と成果について

答 企業誘致・教育の分野で特に成果

今年度、本市は富谷市前期総合計画期間の最終年度を迎えています。

前期基本計画期間の主な取組と成果は、

企業誘致の実現による新規雇用の創出として、高屋敷工業用地に株式会社日本ファインセラミックスなど3社が立地したほか、新たに985人の雇用創出を実現しました。

平成30年に富谷市まちづくり産業交流プラザを

オープンし、現在、富谷塾生は200人を超え、起業の実現やさまざまな活動が生まれています。

富谷宿開宿400年記念事業の一環で、富谷宿観光交流ステーションを整備しました。オープンは令和3年4月17日です。

国際理解教育の推進として、平成30年度に市立幼稚園、小中学校全校のユネスコスクールへの登録を実現し、持続可能な開発のための教育、ESDを実践しています。

GIGAスクール構想の実現を目指し、県内でもいち早く児童生徒1人当たり1台のタブレット端末整備が完了しました。

平成30年度と今年度において、待機児童ゼロを実現しました。

男女共同参画を推進し、審議会等委員への女性登



佐藤 浩崇 議員

用率が平成31年4月には50・3%と、全国の市町村で2番目の高さとなりました。

低炭素社会形成に向けた取組として、東北の自治体では初となる地域連携・低炭素水素技術実証事業を開始しました。

行財政改革に取り組み、平成30年度および令和元年度当初予算は、県内市町村では唯一、財政調整基金からの繰入金を計上せずに予算編成しました。

後期基本計画へのSDGsの反映が必要では、後期計画策定においては、行政が取り組む事業とSDGsが掲げる17のゴールとの関連性を可視化していきます。



・平成30年に富谷市まちづくり産業交流プラザを



▲ 認知症サポーター「オレンジリング」

その他の問

問 行政区集会所へAED設置は

答 町内会に活用できる助成金を案内

問 行財政改革の推進について問う

答 政策立案能力の向上に努めます

国や県が実施している感染症防止策や経済対策等に加え、本市においても独自支援策として、一般市民の方々に向けて富谷市ひとり親家庭緊急支援事業による給付をはじめ25件、事業者の方々に対しては、事業継続支援事業、認可保育園等運営事業者に対する新型コロナウイルスナウシルス感染症予防対策への補助金の交付など18件を実施しています。これらの事業に対する予算は財政調整基金からの

繰入れも少ない額ではありません。さらには、この事業を行うための事務量の増加も市職員の方々に大きいのしかかっていると思っております。このことから行財政のさらなる改革は必要不可欠だと考えます。

問 AEDを複数の部課で個々に契約しており、同じ携帯用AEDの年間契約額が最高6万6000円、最低3万5640円と2倍近い差があります。契約要領を見直すべきでは。



▲ AED (市役所)

答 AEDは、各施設で必要性を検討しての設置、施設の建設に併せての設置となることから、施設を所管する課ごとに契約しています。一括契約が可能なものは、取りまとめて契約を行うよう努めています。今後も、効率



村上 治 議員

的な契約事務の執行に取り組みます。

問 宮城県庁、名取市等多くの自治体で職員が改善提案を行い、市政運営の効率化や市民福祉の向上を目指しています。本市においても職員提案の制度を定めては。

答 各課日々の業務の中で、職員が政策を立案し、事務処理改善などにも取り組んでいます。

問 課内だけでなく部課をまたいだ改善提案も必要では。

答 各課、横につながる事務についての重要性についても議員ご指摘のとおりです。今後の行政改革の検討を進めるにあたり事務の参考とします。

問 児童クラブ 民間委託への評価は

答 非常に資質向上出来たと思います

平成29年度から、民間委託事業へ移行しました。3年が経過し、令和3年度から5年度に向けては、新たな契約になります。

報告書では、諸問題等の研修をしながら、専門性を活かすと記載もあり、今後の児童クラブの運営について質問します。

問 民間委託運営による成果は。

答 3事業所とも、特性豊かな運営方針で、時間の延長や土曜日の利用な



▲ 富谷小学校児童クラブ

どを実現しています。

問 専門性が活かされたと感じられていることは。

答 子どもたちの主体性を育み、自然環境などに触れることで、野外でのワークシヨップや、体験活動の取り組みです。

問 コロナ禍での工夫は。

答 富谷放課後児童クラブのコロナ禍に対するガイドラインに基づき、支援を行い、さまざまな行動において3密を避け、小人数で実施しています。

問 平成28年、国の指針では、来所時や帰宅時の状況把握にICカードなど示されていますが、認識は。

答 取り組みや、先進的な事例を調査しています。

問 感染症対応や、対策ということからも、タイムカードでのスムーズな対応が必要では。



浅野 直子 議員

答 改めて調査研究し、検討課題とします。

問 今後の課題は。

答 今年度において8施設中4施設で定員を超えたことから、5年生・6年生の利用を保留としており、次年度以降も低学年の利用児童が増加傾向が続くと推測しています。

問 具体的には、どのように進められますか。

答 施設の面が大きく影響していますので、教育委員会や学校とも協議します。大きな課題と捉えています。

問 支援を必要とする児童への取り組みは。

答 各施設、専門の先生の助言を踏まえ、対応を行っています。

問 急増する後期高齢者への施策は

答 介護需要等を踏まえ計画策定する

10月に発表された2020年版厚生労働白書の中には、長寿命化が進み「人生100年時代」がより身近になること、2040年には全就業者の5人に1人が医療や福祉の現場で働く必要があるとの推計も示されました。第8期介護保険事業計画（令和3年度～5年度）の策定に当たり、今後の高齢者保健福祉施策について、問います。

3%台、75歳以上で27%に飛び上がり、加齢に伴って75歳以上の出現率が高くなりますが、これに対する施策は、若いうちからの生活習慣病への取り組みや、介護予防への取り組みが肝要と考えています。健康推進課とも連携をしながら、その充実に向けて取り組んでいます。

本市の75歳以上の人口は9月末で4573人。2040年に75歳以上の推計人口は8589人（国立社会保障・人口問題研究所推計）。約2倍の4000人増加するとの推計ですが、それを意識した施策は、

20年後、富谷市の介護保険制度は維持できるのですか。

答 介護保険の充実などにより、介護のサービスを必要としない元気な高齢者が増えるよう努めていくことが重要であると考えています。

国では、制度を維持していくためにこれまでも制度の見直しを適宜行っています。今後その時々に必要な制度の改正が行われるものと思っており、将来的にも本市の介護保険制度は維持できるものと考えています。



出川 博一 議員

問 橋によって途切れた歩道の連結を

答 今後宮城県と協議を重ねる

市道一ノ宮線に架かる鎌田橋、市道一、二ノ関線に架かる袋橋に歩道はありません。歩道はそれぞれ鎌田橋・袋橋で分断されています。歩行者並びに自動車の運転手が安全に安心して通行できるように、歩道と歩道をつなぐ橋の建設が必要と考え、質問します。

の河川整備計画を見込んだ協議になりますので、すぐに建設することは難しいと考えています。

答 宮床川・竹林川の河川整備計画の中で、今後宮城県と協議を重ねていきます。

問 台風19号の被害の復旧は

答 施工中も含め予定通り進捗

令和元年台風19号に伴う豪雨により、市内各地に甚大な被害が発生しました。農地や農業施設の復旧については、農作業等に影響のないよう取り組みましたが一部、令和2年に繰越した事業の工事の状況について質問します。

答 令和2年度へ繰越した件数と工事の進捗は、全体で159件で15件が施工中で、予定どおり進捗しています。

令和3年3月25日を竣工予定として進めています。

問 ため池は、貯水期間の確保が必要と思いが、完成時期は、

令和3年3月25日を竣工予定として進めています。

令和3年3月25日を竣工予定として進めています。



浅野 武志 議員



▲ 75歳以上の将来推計人口

第8期の計画については、20年後を見据えた計画となるよう、推計人口等から導かれた介護需要等を踏まえ、県とも連



▲ 袋橋

農地は116件、農道は55件、水路は134件、堰は10件、ため池は

令和3年3月25日を竣工予定として進めています。

問 公営墓地単独事業として整備を

答 単独事業は考えていません

コロナ禍や人口予測を下回る中において公営墓地とパークゴルフ場との一体整備を見直し、公営墓地単独で造成し、早期に供用を開始することが重要です。

問 総事業費は。
答 約12億円を予定しています。

問 自衛隊部外土木工事は。
答 受託は困難との報告を受けたことから、見送らざるを得ない状況です。

問 費用試算はしていません。
答 まずは墓地造成に絞って整備をする考えは。イメージで提供します。

問 市道三ノ関大崎線に歩道設置を

答 歩道の設置は非常に難しい

旧4号線から三ノ関会館付近までの未整備区間延長740mの改良工事において、片側幅員3m、両側に1・25mの路肩を設け、歩道のない整備となることの説明がありました。

問 歩車分離する歩道を設置する方策は。
答 会館側の通行に配慮し、ガードレール等を設置することを検討したいと考えています。

問 歩道と路肩の違いは。
答 歩道は歩行者が通る空間スペースで、路肩は道路の車道を守る部分です。

問 交通安全対策上、歩道の設置の検討は。
答 現時点においては、歩道設置は非常に難しいと考えています。

問 単独事業とした場合、造成コストは。
答 条例に定める幅員2m以上の歩道整備は、歩行者の安全確保、運転者の安全走行の観点から、当初から整備が必要と考えます。

問 全体事業費は。
答 3億3000万円です。



若生 英俊 議員

問 介護保険料滞納でも利用の継続を

答 今後もサービス提供は続けていく

全国的に65歳以上の介護保険料の負担が増加し、保険料の滞納により差し押さえ処分、サービス利用の抑制も聞かれています。

問 介護保険料の滞納が発生した場合、サービスの提供はこれまで制限なく行われてきましたが、現状は。
答 現在も制限していません。

問 今後も滞納が発生した時も、サービスの提供は続けていくべきでは。
答 今後も続けていくことを考えています。

問 介護保険の負担軽減のために、段階を増やす
答 全国的に65歳以上の介護保険料の負担が増加し、保険料の滞納により差し押さえ処分、サービス利用の抑制も聞かれています。

問 介護保険の負担軽減のために、段階を増やす
答 全国的に65歳以上の介護保険料の負担が増加し、保険料の滞納により差し押さえ処分、サービス利用の抑制も聞かれています。



渡邊 清美 議員

問 女川原発再稼働 市としての考えは

答 知事の地元同意表明を尊重する

問 女川原発2号機の再稼働は県民の直接の声を聞いて判断すべきだったと考えます。富谷市としての考えは。
答 周辺自治体を会場とした住民説明会を経て、立地自治体が再稼働容認の意向を示し、最終的に知事が地元同意を表明しましたので、本市もこれを尊重するものです。

問 コロナ禍における避難者受入れ体制の再検討が必要では。
答 国のガイドラインのつとより、今後、県、石巻市と協議検討していきます。

問 子どもの任意予防接種の助成は
答 定期接種になったとき考えます

問 避難者を受入れられないときの対応は。
答 それほど逼迫する状況にならないかなと考えています。



▲ (仮称) やすらぎパークとみや

問 子どもの任意予防接種の助成は
答 定期接種になったとき考えます

問 避難者を受入れられないときの対応は。
答 それほど逼迫する状況にならないかなと考えています。



その他の問

問 子どもの任意予防接種の助成は

答 定期接種になったとき考えます

問 震災時の断水対策について問う

答 仙台市と協定を締結しました

東日本大震災発生後、明石台、成田等では断水が20日間続き、住民は生活用水の確保に大変苦労しました。昨年、広域水道の接続等を仙台市と協議するとの答弁がありました。したが、進捗状況などを質問します。

問 仙台市との災害時相互応援給水に関する協定は。

答 仙台市泉区向陽台と富谷市明石台との相互応援給水協定を11月20日に締結しました。有事の際



の断水期間は特定できませんが、連絡管の活用だけであれば半日程度で給水可能と思われます。他の地域の対策は、継続して検討します。

問 避難所の暑さ対策を問う

答 エアコン使用と換気が必要です

コロナ禍における災害発生時は、多くの避難所を開設する必要があります。また、近年の夏は、危険な暑さが続き、熱中症への嚴重な警戒が呼びかけられており、扇風機のみでの暑さ対策では十分とは言えません。

問 行政区長への一時避難所開設の協力要請は。

答 コロナ禍における国の指針に基づいて、物資輸送等の対策が固まり次



塩田 智明 議員

問 給水活動は、市職員のみでは困難であり、各町内会館に簡易式タンクの常備を検討しては。

答 町内会との連携について、関係各課と協議します。

第、行政区長会議等で説明します。

問 避難所のエアコン設置状況は。

答 小中学校等は、全て設置済みです。エアコン未設置の3町内会館には地域振興費補助金等を活用して設置の検討をお願いします。

問 災害対策について

答 コロナウイルスにも対応している

東日本大震災から間もなく10年になるうとしています。長期間の断水や停電、道路の陥没など、ライフラインが断絶し、大変な思いをしたことを思い出します。そして今コロナウイルス感染症の流行により外出しづらく不安を抱えている方も多くいると思います。また停止していた女川原発に再稼働の動きがあり、重大事故が起きた場合の広域避難計画の問題や、近年全国のどこかで発生

している豪雨による災害など、さまざまな災害が起きた場合の対策・準備は万全なのかと思います。

問 災害協定を結んでいくところは何件ですか。

答 これまでに44件の協定を締結しており、今後とも推進していきます。

問 その内容は。

答 消防や救急等の相互応援に関するところが17件、人員支援に関するところが11件、食料品や医薬品など物資提供するところが14件、予防接種、緊急輸送に関するところが各1件です。

問 災害時の備蓄品の内容は。

答 物品は多岐にわたりますが、今回、新型コロナウイルスに対応するため、マスク、体温計、消毒液、段ボールベットの問仕切りなどの物品の備

蓄を進めています。

問 女川原発の重大事故時の広域避難計画の内容は。

答 原子力災害の発生した場合に、30 km圏内の地域を含む市町村が圏外へ避難を行う計画です。

問 避難者を何人受け入れる予定ですか。

答 石巻との協定では、最大で2620人です。

問 受入をする場所は。

答 各公民館、スポーツセンター、武道館、西コミと考えています。

問 市民が不安に思わないよう正しい情報を広く発信しては。

答 広報など、災害に先んじて考えます。

▲ 災害備蓄品



高橋 正俊 議員

問 ICTを活用した英語教育を問う

答 スピード感を持って進めます

英語教育のあり方については、以前より改善すべきであると多くの専門家の方々が指摘しています。しかし、旧態依然変わらないのが現状であります。今回のコロナ禍を良い方向と捉えれば、英語教育の転換期が来ていることを確認できたと思います。



▲ 学習用タブレット端末

問 これまでの英語教育と現在の英語教育について、どのような認識を持っていますか。

答 言語活動を充実させ、自分自身の考えや気持ちと伝え合う対話的活動を重視していきます。



畑山 和晴 議員

答 コミュニケーション能力や意欲に課題があるため、英語への慣れ親しみからコミュニケーションまで、円滑につながることを目指します。

問 オンライン、ズーム等による海外の学校との交流が可能となると思いますが、見解は。

答 言語活動を充実させ、自分自身の考えや気持ちと伝え合う対話的活動を重視していきます。

問 受験のための英語教育のあり方を変えるべきであると思いますが、見解は。

答 新しい技術を活用し交流を進め、児童生徒にグローバルな資質、能力を育成できるように働きかけていきます。

問 子どもの自己肯定感向上を問う

答 自己肯定感向上の教育についての課題は、振り返りながら、小学校から高校まで、自分の変化や成長を積み重ねていく「キャリアパスポート」を充実させ、自己肯定感向上につなげていきます。

答 キャリアパスポートを充実します

問 3密を防ぐ机の間隔になつていきますか。

答 コロナ禍で貧困や虐待、DVなどで不登校傾向や不登校の児童生徒が増えることが懸念されます。児童生徒の状況に応じて、各種心理職専門家、子どもの心のケアハウス

問 富谷で予想外の子どもが不登校に、また虐待を耳にしました。子どものケアの充実が必要では。

答 学級編成の標準は国が定めるものです。県委員会と連携しながら動向を注視します。

問 有害鳥獣被害の対策強化は

答 被害状況は、物理柵のないところの被害が増えています。

問 被害額は数百万円程度です。農家を守るために補助が必要では。

答 被害額は数百万円程度です。農家を守るために補助が必要では。

問 被害額は数百万円程度です。農家を守るために補助が必要では。

答 公的な補償制度を伝えます。

問 直接わなを設置できるように地域住民向けの捕獲に関する研修は。

答 農協の青年団に対し周知、PRをしました。

問 住民向けが必要では。

答 物理柵設置の説明会でお話しをしています。

問 今後努めていきます。

答 今後努めていきます。

問 コロナ感染拡大期の教育支援策は

答 努めています

問 文科省のマニュアルで1mを目安に最大限の間隔をと示されており、できるだけ努めています。

答 コロナ禍で貧困や虐待、DVなどで不登校傾向や不登校の児童生徒が増えることが懸念されます。児童生徒の状況に応じて、各種心理職専門家、子どもの心のケアハウス

問 少人数学級を検討すべきでは。

答 コロナ禍で貧困や虐待、DVなどで不登校傾向や不登校の児童生徒が増えることが懸念されます。児童生徒の状況に応じて、各種心理職専門家、子どもの心のケアハウス

問 学級編成の標準は国が定めるものです。県委員会と連携しながら動向を注視します。

答 コロナ禍で貧困や虐待、DVなどで不登校傾向や不登校の児童生徒が増えることが懸念されます。児童生徒の状況に応じて、各種心理職専門家、子どもの心のケアハウス

問 富谷で予想外の子どもが不登校に、また虐待を耳にしました。子どものケアの充実が必要では。

答 学級編成の標準は国が定めるものです。県委員会と連携しながら動向を注視します。

問 有害鳥獣被害の対策強化は

答 被害状況は、物理柵のないところの被害が増えています。

問 被害額は数百万円程度です。農家を守るために補助が必要では。

答 被害額は数百万円程度です。農家を守るために補助が必要では。

問 被害額は数百万円程度です。農家を守るために補助が必要では。

答 公的な補償制度を伝えます。

問 直接わなを設置できるように地域住民向けの捕獲に関する研修は。

答 農協の青年団に対し周知、PRをしました。

問 住民向けが必要では。

答 物理柵設置の説明会でお話しをしています。

問 今後努めていきます。

答 今後努めていきます。



藤原 峻 議員

問 通学路の安全向上策と意識向上は

答 今後もそれらの充実を図ります

問 通学路の安全点検の実施時期とその方法は。

答 毎年、各学校に調査を依頼し、教育委員会と防災安全課、都市整備課などと大和警察署が連携して、対応策の協議を行います。今年度は、11月5日に実施しました。

問 富ヶ丘交差点に建設予定の歩道橋設置の進捗状況は。

答 9月24日に、国土交通省主催で地元町内会と学校関係者を対象とした事業説明会が開催されました。



▲ 富ヶ丘

問 富ヶ丘郵便局やラーメン店駐車場から、歩道にはみ出した車に対し、指導が必要では。

答 通学路に隣接しており、今後指導いたします。

問 ローソン富ヶ丘店前の通学路を、標識やスクールゾーンの文字を目立たせる取組が必要では。

答 担当課と協議し、進めていきます。



長谷川 美 議員

問 団地内の公園の維持管理について

答 地元の意見を聞き対応しています

問 公園の樹木等の維持管理を行うため、ガイドラインが必要では。

答 公園の規模や位置の違いもあり、難しいと考えています。

問 公園の落ち葉対策として、ごみ袋の支給やフレコンバックの設置は。

答 町内会からの依頼があれば行う予定です。

問 公民館図書に書籍除菌機の導入を

答 図書館の整備計画で検討します

問 コロナ禍で除菌への意識が高まっており、公民館図書室の貸出図書の衛生に不安を抱いている市民がいます。

答 多くの図書館で導入している書籍の除菌機は、ノロウイルス、インフルエンザなどに効果があり、紫外線照射で新型コロナウイルスにも効果が期待できるとも聞いています。

問 市民が安心して本を借りられるよう、さらなる衛生対策が必要です。

答 新生児の聴覚検査において、異常が発見されたときの早期治療、療養で、影響が最小限に抑えられることから、全ての新生児に聴覚検査を実施することが重要です。



問 公民館、学校の貸出図書の衛生対策は。

答 公民館で返却された書籍はアルコール除菌液で表面を消毒し、72時間保管後に書架に戻していただきます。学校図書室もアル

コール除菌液などで表面を拭いています。

問 書籍除菌機の配置は。

答 今後の図書館の整備計画で、書籍除菌機の導入など、衛生対策で検討していきます。



安住 稔幸 議員

問 新生児聴覚検査費用の助成を

答 検討に至っていません

問 新生児の聴覚検査において、異常が発見されたときの早期治療、療養で、影響が最小限に抑えられることから、全ての新生児に聴覚検査を実施することが重要です。

また、視力は成長に伴って発達をします。正常な発達を妨げられると弱視になりますが、早期治療で視力の回復が期待できます。3歳児の適切な視力検査が重要です。

問 3歳児視力検査でフォトスクリーナーの導入は。

答 他自治体の状況などを参考に、慎重に検討したいと考えています。

問 新生児聴覚検査費用の助成は。

答 聴覚検査費用の助成については、支援体制が確立されていないことから、現時点ではその検討に至っていません。

問 3歳児視力検査でフォトスクリーナーの導入は。

答 他自治体の状況などを参考に、慎重に検討したいと考えています。

よりよいまちづくりのために

調査 しました

(9月～11月実施)

一般質問

委員会活動

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

◎調査日 10月20日
土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域の現地視察にて、現状の改善、対策の必要性を強く認識しました。人命最優先で速やかな避難の支援など、行政としての行動の確立を求めます。
対象区域の住民に対し、警報発令時の危機意識、

避難行動などの実態調査を行いさらなる危機意識の啓発に努め、「ここは大丈夫」の思いを捨て去り、一からの意識改革の取り組みが必要です。
「自分の命は自分で守る」の判断に誤りのないように指導、学習の機会も設けるべきです。

災害対応備蓄物品では、全てを万全に準備する事ですが、民間、他自治体との協定で補完する事も可と考えます。
自然災害は大規模で強力に、いつでも、どこでも発生するとの気構えで、防災、減災の活動に取り組むことを求めます。

災害対応について

防災減災への取り組みを

調査先：土砂災害警戒区域等



総務常任委員会

教育のICT化について 情報モラルと 情報セキュリティ教育が重要

調査先：明石台小学校

◎調査日 9月28日

7月のGIGAスクール構想に係る調査に続き、教育のICT化の課題等について調査しました。タブレットを使用した

国語の授業を視察しました。担当教師（校内情報推進リーダー）からは、「児童の変化」として、ノートをとらなかつた子がiPadにメモをして



いることや、授業の中身をクラウド上に保管しているため可視化でき、自分で再確認（復習）できること等であり、また「児童への指導」面では、情報モラルや情報セキュリティに関し、事例を踏まえて指導しているとのことでした。

よって、自らを危険にさらしたり、他者を害しないような基本的な態度や考え方を身に付けることが重要です。引き続き、発達段階に合わせた指導を求めます。

〈その他の調査〉

◎調査日 10月22日
フードバンクについて

市道改良事業の進捗状況について 安全のために フル規格の歩道を

調査先：市道穀田三ノ関線
市道三ノ関大崎線

◎調査日 10月13日

市道穀田三ノ関線、三ノ関大崎線の整備状況を調査しました。市道整備は、富谷小学校周辺の交通渋滞の解消と、富谷北部における道路環境の整備が目的です。穀田三ノ関線については、掘削工事に伴う湧水が確認されていますが、

進捗状況は50%と順調に推移しています。また、三ノ関大崎線については、9月に工事請負契約が完了し、今後は、用地と物件補償の交渉を行い工事に着手します。完成は、令和3年度の予定です。歩道の設置について議論がされ、車道と

歩道の安全境界線として、外側線を設ける予定になっていますが、路肩に敷かれるコンクリートで分離されない事が確認されました。しかし、長年使用する道路として、歩行者・運転手双方の安全のためにもフル規格の歩道の設置を求めます。



議員全員協議会を開催しました

11月24日

- (1) 提出予定議案に関するもので、担当部課から説明を行うもの
- ① 富谷市国民健康保険税条例の一部改正について
 - ② 富谷市介護保険条例の一部改正について
 - ③ 富谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 - ④ 富谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 - ⑤ 富谷市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
 - ⑥ 富谷市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について
 - ⑦ 令和2年度富谷市一般会計補正予算(第9号)
 - ⑧ 令和2年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - ⑨ 令和2年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第4号)
 - ⑩ 令和2年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
 - ⑪ 令和2年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)
 - ⑫ 和解及び損害賠償額の決定について
 - ⑬ 富谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
 - ⑭ 黒川地域行政事務組合規約の変更について
 - ⑮ 職員の給与に関する条例の一部改正について
 - ⑯ 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
 - ⑰ 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
 - ⑱ 富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
- ① (仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案)について
 - ② 富谷市水道事業基本計画(概要版)について
 - ③ 富谷市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険計画の概要について
 - ④ 富谷市地域福祉計画の概要について
 - ⑤ 富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の概要について

12月1日

- (1) 令和2年第4回定例会について
- (2) その他

12月8日

- (1) 提出予定議案以外で説明を要する案件
- (仮称)やすらぎパークとみや整備基本設計業務について
- (2) 提出予定議案の追加議案に関するもので、担当部課から説明を行うもの
- ① 富谷市市営墓地特別会計条例の制定について
 - ② 令和2年度富谷市市営墓地特別会計予算
 - ③ 令和2年度富谷市一般会計補正予算(第10号)
 - ④ 令和2年度富谷市一般会計補正予算(第11号)
 - ⑤ 黒川地域行政事務組合の財産処分について
 - ⑥ 専決処分の承認を求めることについて
(職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)
 - ⑦ 専決処分の承認を求めることについて
(議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例)
 - ⑧ 専決処分の承認を求めることについて
(特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例)
 - ⑨ 専決処分の承認を求めることについて
(富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例)
- (3) 提出予定議案以外で説明を要する案件
- 令和2年度富谷市まちづくり市民アンケート調査結果について
- (4) その他

12月10日

- (1) 人事案件の表決について
- (2) 議員全員協議会と本会議での説明レベルについて
- (3) その他

議会活性化調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えられる議会を目指し、調査をします。

11月5日

【議会活性化調査小委員会】

- ・一般質問通告書のホームページ掲載について
- ・議会報告会について
- ・富谷市議会災害行動指針マニュアルの検証について
- ・その他

12月1日

【議会活性化調査特別委員会】

- ・長期欠席議員の対応について
- ・富谷市議会災害行動指針マニュアルの検証について
- ・一般質問通告書のホームページ掲載について
- ・議会報告会について
- ・その他

富谷市民図書館等に関する調査特別委員会

図書館、スイーツステーション、児童遊戯施設を複合施設にすることについて、民間活力の活用を含め、調査をします。

12月7日

- ・富谷市複合施設整備基本方針策定に関する進捗状況について
- ・その他

人事

固定資産評価

審査委員に

佐々木 喜一さん

(西成田)

再任

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、市長より同意を求められ、全会一致で可決しました。任期は3年間です。

表彰

秋の叙勲

旭日双光章

地方自治功勞

浅野 幹雄氏

(元市議会議員)

宮城県文化の日

表彰

地方自治功勞

相澤 榮氏

(前市議会議員)

陳情書

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、格差のない全国一律最賃制度の確立を求める政府に対する意見書採択の陳情書の提出について
宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋正行
- 「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会(略称：医労連) 執行委員長 中山 修
- 「看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会(略称：医労連) 執行委員長 中山 修
- 「介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会(略称：医労連) 執行委員長 中山 修
- 「介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について
宮城県医療労働組合連合会(略称：医労連) 執行委員長 中山 修
- 米軍基地負担の軽減及び日米地位協定の見直しに関する陳情書
日米地位協定問題を考える宮城の会 責任者 佐藤春治
- 水田農業対策に関する 要請書
新みやぎ農業協同組合 代表理事組合長 大坪輝夫
宮城県農協政治連盟JA新みやぎ支部 支部長 大坪輝夫
- 女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書
浅利志津子 他16人の署名
すべて議員配付となりました。

請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。

また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

●請願書・陳情書の提出

1. 書面で提出し、邦文を使います。
2. 表紙に請願書(「陳情書」も同じ記入方法です。)と明記し、提出年月日、請願者(法人の場合は代表者)の住所、氏名を記載し、押印します。
3. 請願内容を示す表題を付け、請願事項の簡潔明瞭な要旨と請願の理由を記載します。
4. 請願書の場合は、紹介議員の署名、または記名押印が必要です。

※ 内容については、明確また簡潔に記載してください。

請願書・陳情書の書式例は富谷市議会ホームページをご覧ください。

次回の定例会は2月中旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。 TEL 022-358-0622

富谷市議会 インターネット 録画配信中

富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city-stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット

検索



広報研修



12月15日、議会広報調査特別委員会にて、河北新報社富谷支局より藤田和彦氏を講師に迎え、研修会を行いました。紙面編集のコツやポイント等について、アドバイスをいただきました。今後も、幅広い世代に手に取っていただける議会だよりを目指します。



とみや杜の橋こども園は、社会福祉法人三矢会が運営する市内では3園目の施設で、富谷市初の認定こども園として、平成29年12月に開園しました。本園は幼稚園と保育園の両方の機能を兼ね備えた施設で、0～5歳児の保育を必要とするお子様への保育と満3歳以上のお子様への幼児教育の提供と地域の子育て支援活動を行っております。



あきらめずに最後までやり抜く力、ルールを守る力、創造力や工夫する力、お友だちと協力したり思いやる力などの非認知能力を育むことを目標に、毎日の教育保育活動や運動会、発表会、音楽発表会などの行事や大根掘り、枝豆収穫・ずんだ作りなどのさまざまな体験を通して育んでいます。姉妹園の上桜木果樹園の森こども園や明石台若樹の森こども園と一緒にの行事もあります。子どもも先生も元気で笑顔いっぱいこのこども園です。

<表紙紹介>

ミレニアムモニュメント「ひとの架橋」

2001年、新庁舎(現市役所)建設にあたり、ミレニアムモニュメント「ひとの架橋」の披露と2050年開封予定のタイムカプセルの封印が行われました。

英語を学ぶことで広がる 世界を感じて欲しい

みんなの広場

佐々木まいさん(富ヶ丘)



昨年3月、新型コロナウイルス感染予防のため富谷市内の小学校が休校になりました。休校中の時間を有意義に過ごして欲しいと思い、近所の子どもたちに週3回、自宅でフォニックス(英語)を教え始めました。フォニックスとは英語の文字と音の関係を示したルールのことで、英語圏の子どもたちは年長さん頃から小学校低学年にかけて学びながら文字と音を一致させ読み書きを習得していきます。フォニックスでは、Sの音がス、Uがアと学ぶため、SUNをスンではなくサンと発音し、ローマ字読みすることはなくなります。そして発音が良くなり、フォニックスで英単語の7割が読めるようになると言われていました。3月から半年間フォニックスの学習を修了した子どもたちは、現在絵本の音読が出来るようになりました。子どもたちの成長の早さには本当に驚かされます。

現在は富ヶ丘北部会館をお借りして、活動しています。より多くの子どもたちに学びの機会を届け、子どもたちに英語が読める楽しさを知ってもらいたいです。これからもフォニックス学習を通して、グローバル社会に羽ばたこうとする富谷の子どもたちを微力ながらサポートしていきたいと思っています。

編集後記

コロナ一色の一年でした。今年こそは・・・

今回、コロナ禍のため誌上での議会報告となりました。皆様のご意見、ご感想をお寄せください。延期していた富谷宿観「光交流ステーション」と「みやど」が4月17日オー

ブンします。富谷の魅力を身近に感じていただける事と思います。

市政施行5年目、本来の議会だよりは、決まったこと以上に、決まらざる過程を市民の皆様と共有する事だと思っております。議会だよりを通して、市民が市政に能動的に参加できることを目指します。

議会広報委員 菅原福治